

取扱説明書

冷却水循環装置 CWP-4N



この度は、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。

(株)五十嵐製作所

設置時の初期設定

1. タンクに水を入れてください。おおよそ、内部の白い半球状の圧力タンクが完全に水没する水位より 2 ~ 5 センチ高い位置までです。



2. 送りライン、戻りライン、エアー、A C 100 V 電源を繋ぎ、運転スイッチをONにしてください。水が流れ始めます。バルブの切替（排気音が出ます。15秒周期です。）の初回はエアーが混ざる事があります。



3. バルブが数回切り替ってから、送りの水圧（エアーレギュレータ）を調整します。バルブの切替毎にエアーが混ざる様ならば、レギュレータの設定圧を落としてください。また、流量が少ない（本機の扉を開け、散水パイプから水がきれいに広がっているか確認してください。）場合は逆に設定圧を上げてください。



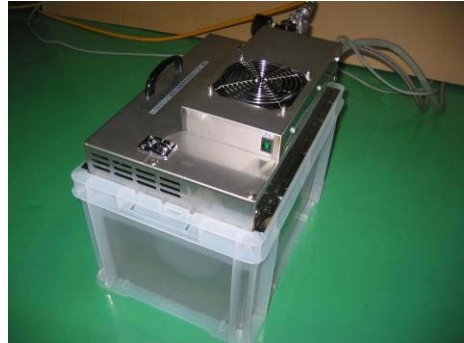
4. 以上で初期設定が完了です。初期設定は接続機器が変わる都度しなければなりません、通常は出荷時設定 1.5 k g / c m² で良いと思います。

使用方法

1. 運転開始時は、水量を確認し、減少した分は適時補給してください。特に夏期は、蒸発量が多く、ほぼ毎日補給が必要です。冬期は2,3日に1回程度です。但し、使用環境によって異なります。



2. 運転スイッチをONにすると、循環が始まります。但し、前日の停止タイミングによって、バルブの切替初回のみエアーが混ざる場合があります。



3. 運転中にエアーが混ざる現象が起きた場合は、最低水位（白い半球状の圧力が水没する水位）を下回っているか、レギュレータの圧力設定が高すぎる事が考えられます。水の補給かレギュレータの再調整をお願いします。

* 写真は最低水位を下回った状態です。



4. タンク内の水が汚れた場合は、必ずタンクを清掃し水を交換してください。

* 機器を傷めない為にも定期的な水の交換を推奨します。



交換時は、運転を止め、ポンプユニットをタンクから持ち上げ、圧力タンクの底の吸入弁軸を押し込み、圧力タンク内の水をタンクに排出してください。(圧力タンクは2つありますので、2つ共排出してください。)



その後、タンクを移動し清掃を行ってください。汚れる前の定期的な交換を推奨します。



仕様

使用電源（消費電力）	A C 1 0 0 V (31W)
エア-消費量（コンプレッサー換算消費電力）	12 ~ 0 L / min (50W * 1)
冷却水循環方式	エア-圧送式
冷却方式	簡易気化冷却式
冷却能力（露点温度+15 の場合）* 2	400W
循環水流量・圧力（最大）	3.5L/min ・ 2.5 kg/cm ²
タンク容量（標準）	約 15L
水消費量（最大）	約 0.4L/h
寸法	291 × 424 × 332（突起部は除く）
重量（冷却水を除く）	約 8 k g

*1 循環水の流量・水圧が 2L・2k g / c m² の時に 5HP のコンプレッサーで空気を供給した場合の消費電力です。

*2 露点温度は気温と湿度で変わりますが、目安は冬期で気温マイナス 1 ~ 2 、夏期で気温マイナス 10 前後です。

製造元

(株)五十嵐製作所

新潟県加茂市小橋 1-2-19

T E L 0256-52-0427

F A X 0256-52-1972